

# 文部科学大臣優秀教職員表彰ニュース

令和5年2月発行 京都市教育委員会 教職員人事課

文部科学省では、平成18年度から学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げている全国の教職員を表彰し、意欲及び資質能力の向上に資することを目的に「優秀教職員表彰」が行われており、第17回目となる今年度は全国から795名、50団体の優秀な教職員が表彰され、本市からは、7名(小2名・中2名・高1名・支援1名・養護教諭1名)及び1団体が受賞しました。オンラインで表彰式典に参加した受賞者の皆様は、今後の教育実践等への意欲をさらに高められました。

## 受賞者の皆様



石田小学校  
鈴木 美香 教諭



朱雀第二小学校  
宮下 和久 教諭



向島東中学校  
角田 千里 主幹教諭



桂中学校  
杉本 千恵 教諭



塔南高等学校  
岩崎 美佳 教諭



西総合支援学校  
下 英樹 教諭



朱雀第四小学校  
渋谷 友香 養護教諭



神川中学校ブロック「どうとく」研究チーム  
(神川中学校)



「文部科学大臣優秀教職員表彰」の御受賞、誠にありがとうございます。受賞されました7名と1団体の皆様が、一人一人の子どもたちのために、優れた教育実践を積み重ねられ、本市教育の充実に御尽力いただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校教育活動に様々な困難が伴う状況が、今もなお、一部続いておりますが、受賞された7名と1団体の皆様は、「学びを止めない」という強い決意のもと、逆境においても、それぞれの専門分野において顕著な成果をあげ、本市教育を牽引されました。受賞者の皆様が、この度の御受賞を機に、社会が急速に変化する時代においても、自信と自覚をもって、ますます御活躍され、優れた教育実践を波及させながら、御自身の輝きを京都市全体に広められることを御期待申し上げます。受賞者の皆様をはじめ、全ての教職員の皆様におかれましても、子どもたちが、自身の良さや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、これからの新しい時代を切り拓くことができるように、今後一層、本市教育の充実に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

京都市教育長 稲田 新吾